

改革への挑戦「未来を切り拓く」



取締役統括部長 桑宮 洋宣氏、
総務部主任 伊藤 美由紀氏

取組概要

【デジタル技術などの活用による生産性向上】

- ・ WEB 会議及びリモート現場管理システム導入
- ・ ICT 施工、BIM/CIM 導入による工事の見える化、省力化
- ・ 現場写真のクラウド保存による情報共有の迅速化

【日常業務の効率化】

- ・ 電子決裁システムの導入
- ・ モバイル端末での勤怠管理(労働時間見える化)
- ・ 生成 AI による定型業務の自動化

【多様な働き手確保のための職場環境の改善】

- ・ 公的資格取得支援、資格手当の支給

—「電子決裁システム」や「現場管理システム」、「ICT 施工」「BIM/CIM」などに関する技術導入など、多様な IT ツールを積極的に導入したきっかけを教えてください。

桑宮部長： 大きなきっかけはコロナ禍です。従来の働き方を見直さざるを得ない状況になったことと、そもそも 2024 年問題に直面していたこともあり、社長から「全社一丸となり、従業員の働き方改革に取り組もう」という提案がありました。そこで令和 2 年(2020 年)から様々な取り組みを始めています。

—それぞれのどのような効果がありましたか？

桑宮部長： 弊社は福岡、北九州、大分と 3 拠点あるため、WEB 会議やリモート現場管理システムの導入で、移動が不要となり、大幅な時間短縮、コスト削減を達成しました。現在も会議は 100%リモートです。

「電子決裁システム」の導入では、ペーパーレス化による業務効率化や郵送費の削減だけでなく、決裁速度の向上と現場への迅速なフィードバックも可能になりました。

従業員からは「会議のための移動疲れが軽減され、現場での集中力が格段に上がった」「電子決裁は承認待ちの書類を追いかける作業が激減し、ストレスが大幅に軽減された」「紙の書類



整理が苦手だったが、デジタル化で検索が簡単になり、業務がスムーズになった」という声が届いています。

—ICT 施工に関しては、かなり前から導入していたとお聞きしています。

桑宮部長： 国土交通省が平成 28 年(2016 年)に i-Construction を提唱して以来、できる現場から 1 つずつ進めてきました。現在は、i-Construction2.0 に向けて、ICT 施工や BIM/CIM の内製化を目指しています。

最先端の測量機器やドローンなどのデジタル技術を活用することで、工事の見える化だけでなく、現場作業の省力化・効率化・迅速化を実感しています。中でも現場に小型のネットワークカメラを設置した、リモートによる現場管理システムは、本社にしながら状況や進捗の確

認ができ、施工確認もリアルタイム。現場写真はクラウド保存するため、情報共有も迅速です。



伊藤主任： 従業員からも「会社が最新技術を積極的に導入する姿勢に、モチベーションが上がり、将来への安心を感じる」「様々な IT ツールの導入で業務が劇的に改善されたので、さらに DX を推進してほしい」と喜ばれています。



リモート現場管理システムに使用するカメラ



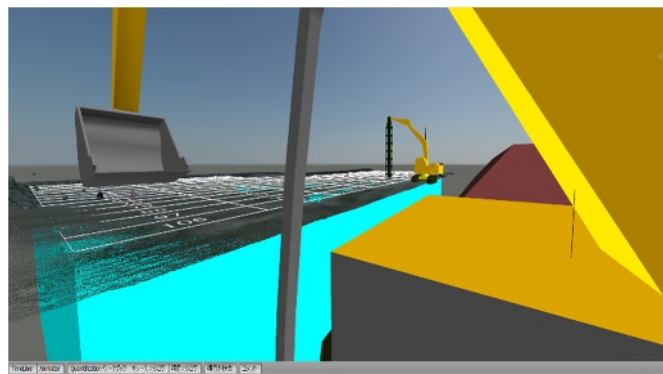
本社にしながら、各現場の様子が分かる

一取組を進める中で、工夫したことがあれば教えてください。

桑宮部長： 若手からベテランまで年代は幅広く、IT スキルにも個人差があります。IT に馴染みのない人やできない人を取りこぼさず、“全員が使えるシステム作り”を念頭に置きました。

伊藤主任： 電子決裁など、社内で導入しているのは既成のシステムですが、カスタマイズできる仕様なので、Excel のように今まで使ったことのあるフォームと似た見た目や操作性を意識して構築しました。

桑宮部長： コツはスモールスタートだと思っています。取組ごとにシステムを試験導入し、現場の意見を取り入れ、改良を重ねてから全社一斉に正式導入に踏み切る、という流れです。



ICT 施工（中層混合処理）

一生成 AI を活用した定型業務（メールの返信など）の自動化やモバイル端末を活用した勤怠管理による労働時間の見える化など、ここでは全て紹介できないほど多様な取組を実施されています。貴社の今後の展望をお聞かせ下さい。

桑宮部長： 弊社では取り組みを始めた 2020 年以降、新卒採用者の退職がありません。DX の推進に伴う勤務時間の短縮によってワークライフバランスが向上し、ウェルビーイングを重視した会社の取り組みが、社員に理解されていることが理由の一つだと感じます。

今後も最新テクノロジーの積極的な導入と人材育成を両輪とした改革を推進しながら、新たなことに挑戦していく所存です。

岡本土木株式会社

業種	土木工事、舗装工事、浚渫工事
代表者	代表取締役 前田 英明
従業員数	74人
所在地	北九州市小倉北区貴船町9-13
HP	https://www.okamoto-doboku.co.jp/
電話番号	093-921-1858

